

# サハリン事務所現地レポート

2018年1月

(件名) ユジノサハリンスク市における除雪状況について

報告者：主査 梶山 雅生

北海道と気候が類似するサハリン州における冬の除雪作業について、当職が見た所感を報告する。

サハリンは冬期にはしばしば強力な大陸性高気圧の影響化に入り、また、風上である西側に海域を有する地域であることから、日本のいわゆる日本海側と同様、大気が海上に存在する大量の水蒸気を吸収することで降雪量が多くなることが特徴である。

政策として住民の生活環境の向上を掲げるサハリン州政府は、除雪に関して、住民の交通経路の確保のため万全な対応が求められている。こうした中、昨年1月には、コジェミャコ・サハリン州知事が、除雪作業が充分に行われていないと除雪業者を厳しく批判し、対応が遅い除雪業者には制裁を与えると声明した。また、現地報道によると、今シーズン（2017-2018）の除雪作業に7億5千ルーブル（約15億円）が充てられるとのこと。

除排雪については州内の主要幹線道についても関心のあるところだが、今回は、州都であり、また、当職が居住しているユジノサハリンスク市の特徴について、①投入機材と労働力の規模、②除雪作業の態様、③右に関するデメリットを、当地での観察内容を元に述べていきたい。

まず、①投入機材と労働力についてであるが、当市では、一定程度の降雪後に迅速に除雪作業が行われている。たとえ夜半における降雪であっても翌朝の市民の通勤経路確保のために作業が開始される。北海道と同様であるが、まずメインストリートから除雪が開始され、その後、小さな通りへと作業が移行していく。この際、投入される機材の量は多く、ある通りでは何台もの除雪車が密集して作業が行われる。また、除雪に従事する労働者も非常に多く、機械のみならずスコップによる除雪も丁寧に行われる。

また、②除雪作業の態様について特徴を上げると除雪と排雪がほぼ同時（長くても一週間以内）に行われることである。そのため、北海道でよく見かける道路脇に寄せられる雪山が少なく、運転手・歩行者ともに視界を妨げられる頻度は低い。

最後に、③これら除雪・排雪作業に伴うデメリットに触れたい。上述のとおり、機材・労働力を大量に投入し行われる除雪作業はしばしば市内の渋滞を作り出す。除雪車が近距離に密集してバス停付近を除雪している時などは、その後ろに大きな渋滞を作り出している。また、路面まで徹底的に行われる除雪は、北海道でも春先によく見かけるが、道路を傷つけ、穴を空け、歩道のタイルを剥してしまう。これらの改修は雪解け後の春に行われる。また、融雪剤や砂を大量に散布することから、雪と混じり合い泥となって道路が不衛生な状態になる。春先に風が吹くと砂ぼこりが舞うのは、これら砂の散布によるものだと考えられる。

気候は北海道と類似するが、除雪のシステムや方法については大分異なる印象を受ける。どのような除雪作業が、住民生活にとってより良いのかは、地域間のテーマとなり得るのではないかと思った。



夜間作業風景



スコップによる除雪作業



排雪作業風景